

東南アジアの生産拠点として再認識高まるマレーシア

投資先として根強い人気のマレーシア

日本からマレーシアへ
投資が着実に増えてい
る。すでに活発な自動車
や電気機器分野のみなら
ず、最近は資源分野へ
の投資も相次ぐもので、
非常に潜在性のある市場
として販売拠点を置く企
業も多い。2020年までにマレーシアを高所得
者の国にするという政府
の目標に沿って、マレ
シヤの中央投資促進局M
IDAは、投資を惹きつ
けるためのをしぼった
アプローチを取っている。
マレーシアは、より多
くの日本企業がマレーシ
アに賣の高い投資をする
ことを希望している。ハ
イテク分野で付加価
値が高い、知識・技能を重
視した輸出指向の資
本重視の設計・研究開
発に重点を置いたプロ
ジェクト、GNI(国民総
所得)にインパクトがあ
るもので、国内産業に強
く結びついているプロ
ジェクトへの投資を目指
す。

日本の財務省による
と、13年の日本からマ
レーシアへの投資額は、
1233億円と12年比で
17.2%増加した。11年
から3年連続で1000
億円を上回っており、根
強い人気がうかがえる。
三菱自動車は1月21日、
マレーシアで小型ス

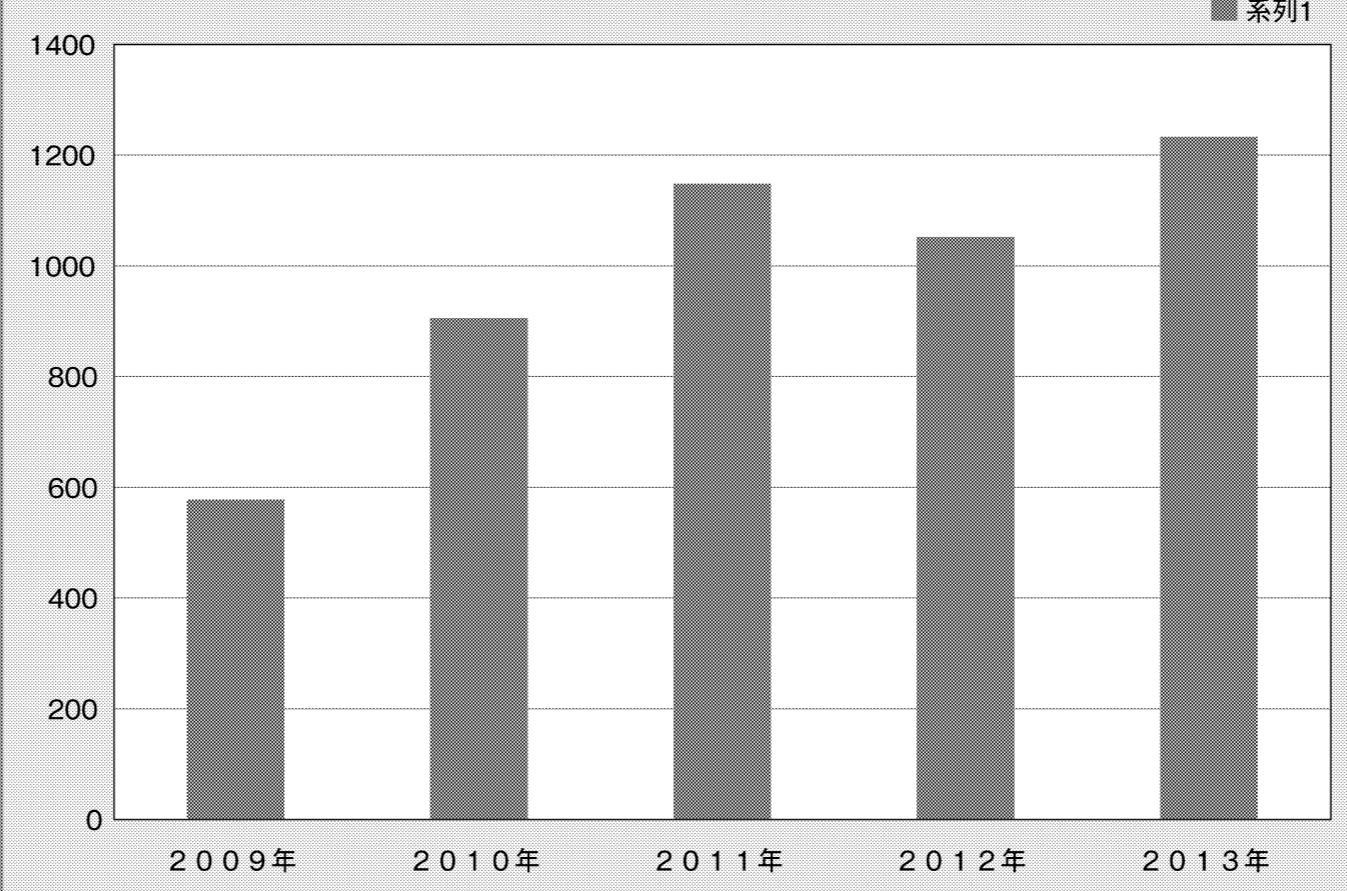
2007年から12年の
6年間、海外からマレー
シヤの製造業への投資に
ついては日本が一番多く、
総額で20億米ドル
にのぼる。投資分野は、
電気、電子、化学、軽金
屬など、製造業を中心であ
るが、食品産業も及ぶ。
また、最近では小売業に
も投資が拡大している。

日本からマレーシアへの投資を引き続き歓迎する。その目標を達成することができる。今後は、規制なく日本に遷することができる。今後は、規制なく日本に遷するためには、さらに資本集約型の産業への投

り、これが分野への投
資ではない。マレーシアは、
6年間、海外からマレー
シヤの製造業への投資に
ついては日本が一番多く、
総額で20億米ドル
にのぼる。投資分野は、
電気、電子、化学、軽金
屬など、製造業を中心であ
るが、食品産業も及ぶ。
また、最近では小売業に
も投資が拡大している。

日本からマレーシアへの投資額推移

単位: 億円、出典: 財務省



マレーシアが日本企業に人気の背景には、穏やかな国
民性に加え、政治の安定性が挙げられる。マレーシア
日本人商工会議所が在マレーシア日本企業を対象に実
施したアンケート(13年5月)によると、投資先として
のマレーシアの魅力として、マレーシアの政策が政治の安定
を挙げた。13年末からタイで政情不安が続く中、この
点は今後も大いに有利になる可能性が高い。

周辺国に比べ、資金上昇がゆるやかな点も強みとなる。

周辺国に比べ、資金上昇がゆるやかな点も